

しなののうた

雑草に囲まれ建ちぬ虫歌の観音堂に落ち葉踏みゆく



杉田小百合

しなののうた

村里のおちこち柿の実たわわ生りふるさと恋し父はは恋し

杉田小百合



しなののうた

真昼なか町を見下ろす野天風呂澄む秋空に身を晒し嗚呼



杉田小百合